

げんとする魂膽を減するものであつて、(八)選友同志會は階級的立場に立つて減体反對を固ふ責任を感じるものである。(九)今回の減体反對運動は全選信従事員を一致せる全力的反對氣勢に導く事が必要である。(十)斯かる意味に於て従來の行應りを捨て、従業員會に共同戦線を提唱する事、(十一)而して全選信下級従事員の完全なる大同團結に迄進展せしめなければならぬ。

以上の如き見解の下に五月二十一日の第二十二回執行委員會は次の如き聲明書を發表すると同時に

- 一、減体反對選信従業員大會開催の件(日時五月廿四日午後六時芝公園協調會館に於て)
  - 二、従業員會及他官省従事員に共同闘争提唱の件
  - 三、名古屋、京都、廣島等地方支部聯合會對する反對闘争方針指令の件
- 等を決定し、減体反對闘争スローガンを、(一)判任官以下の減体減給絶對反對、(二)政府失政に依る犠牲を下級従事員に轉嫁する減体減給絶對反對、(三)財政補填の財源は資本家地主に出させる、(四)全下級従事員は團結して此の暴案を粉碎せよ、として、各支部に指令した。

(聲明書)現政府は再び官吏減俸の方針を決定したと傳へらるゝが是不景氣による豫算破綻の犠牲を國家行政に勤務する勤勞階級に轉嫁せんとするものであるさなきだに財政緊縮行政整理等によりて従來従業員の失業収入低下を見つゝある今日更に減俸を斷行せんとするは勤勞階級の生活權を蹂躪するものと云はねばならぬ我等は官吏減俸はやがて雇員傭人の減俸の前提をなすものなるが故に選信部内下級従業員の生活權擁護の爲めこの暴舉に對し絶對反對を聲明するものである、我等は政府にして官吏減俸を決行せんとするならばこれを奏任官以上に實施し斷じて判任官級に及ぼさずしかして財政補填の道は勤勞階級の犠牲によらざる他の方法を以てすべき事を要求する我選友同志會は今日迄政府の誤れる豫算緊縮行政整理等に對し果敢なる抗争を行ひ來つたのであるが我等は此の飽くなき生活權侵害の暴舉に對し更に一層の決意を以て戦ふものである

五月二十一日

選友同志會執行委員會

減体反對選信従業員大會

本會主催減体反對選信従業員大會は二十四日午後七時より芝公園協調會館に於て開催され熱火の如き反減俸の叫びは擧げられた、会場正面左右に、判任官以下の減体減給絶對反對、昇給停止並諸給與減額絶對反對、政府失政の犠牲を下級従事員に轉嫁する減給絶對反對、財政補填は資本家地主に出させる、全下級従事員は團結して此の暴案を粉碎せよ、全選信従業員團結せよ等の大會スローガンは掲げられ、市内外各郵便局、電話局等の職場、職場から續々と押

ものである

政府は須らく歳入減の補填は資本家に対する課税に求むべきであつて我等下級従業員の勤勞所得に求めんとするが如き減体減給並に負擔勞働の加重を來す人員整理に對して絶對反對をなすと同時に本大會の名を以て減体案の撤回を要求す

右決議す

昭和六年五月二十四日

減体反對選信従業員大會

減体反對全官業勞働組合協議會

しかけた同志に依り、異状なる緊張裡に選友本部當主事減体反對選信従業員大會開催の趣旨を述べて開會を宣し、議長に赤松會長を推す、赤松議長起つて、金融資本家の政府若槻内閣の正體を暴露し、官吏減俸の計劃こそは、金融資本家に忠順なる番頭政治の露骨ならはれである、我等は全官業従事員の意志を代表し、飽迄此の暴案粉碎の爲めに邁進するものであると、議長挨拶を終つて、激電を披露し、減体反對決議案、減体反對各省協議會提唱に關する二議案を滿場一致可決して、松岡氏外數氏の激勵演説あつて、盛會裡に十時散會、決議、若槻民政黨内閣が方に強行せんとする減体案は政府の誤れる財政政策の犠牲を我等下級従業員に轉嫁せんとするものであつて我等の生活權を蹂躪する

二十五日午前十時より總同盟本部に開催された全官業勞働組合協議會は、出席選友當主事、高地執行委員、官業渡邊(善)渡邊(年)村井外三名海輪加藤外一名の諸君で此の減体案が強行されば、全官業下級従事員の上に諸給與の低下を強行し來るは必然であるので左の如き決議を爲し直に總理大臣官邸、大藏省等を歴訪し、決議文を突き付けた

決議

我等は政府の責任たる財政破綻の犠牲を下級従事員に轉嫁せんとする。左記諸給與低下に反對し飽く迄其の撤回を要求す